

作者と 訳者

ベスト・カップル

中条省平
Shohei Chujo

編集者S氏の依頼は、「二十世紀最初の本紙に『読書ガイド』をお願いしたい」というものだった。「それは恐れ多いです」と答えた私に、S氏は「さうぞう、そこで……」と続けた。「翻訳に関するエッセー」は「どうですか？」

だが、翻訳のブロも多数読読している(はずの)本紙に「つなごうは書けない、そこでやむわりとお断りする」といした。「正統的な翻訳論なんてとても私には無理ではないかと……」

「分かってます。中条さんの取り柄は雑食性、あらゆるジャンル、国籍から翻訳本を取りあげて、これぞ作者と訳者が見事一体、というのを挙げる。ベストテンなら書けるでしょう、よくやっているじゃないですか」といつわけ、私なりに作者と訳者が「はまった」と思ふ翻訳を十位選ぶことにあいなった。

ホメーロス／呉茂一訳『イリアス』(岩波文庫)

いきなり「大きく出たな夜明けの大陽」という感じでしょう。この本を読んだきつかけは唐十郎が「尊敬する作家：ホメーロス」とどこかのアンケートに答えていたからだ。当時私の尊敬する人が唐十郎だった。原文は途方もないリズム感で脈打つ詩(でしょ、たぶん)。もと

より外国語になんかなるはずがないのだ。それを呉茂一は極めて個人臭の強い日本語に変えた。何度も読んで実感するのだが、奇妙にうねる呪文のような感じに捕えらる。「大酒くらいの、もった眼は犬のまなこで、胆こいつたら小鹿同然」といった調子。現行岩波文庫の松平訳は立派な散文訳だが、呉訳はなにがホメーロスの体格が見えるような気がする。同じ呪文的リズムの翻訳に「神曲」の寿岳堂訳がある。向井敏は批判したが、古語、雅語、漢語と混ぜ、異様な迫力の「のりつつた ような訳文だ」

鈴木信公訳『ヴィンヤ全書』(岩波文庫)
天沢退一郎氏の新訳『ヴィンヤ詩集』白水社 本体四五〇円)が出たばかりだが、私が個人的に好むのは鈴木訳「さなれそなれ 去年の雪いまは何処」。天沢訳では「いつたいどこにあるんだ 去年の雪は」。ところで、鈴木訳が逆立ちしてもかなわないのが矢野目源一訳『ヴィンヤの卒塔婆小町』だ。鈴木先生もシャッポを脱いで、その全文を本書の脚注に収録している。まさに「名人、名人を知る」の境地。フランス詩の名訳は枚挙にいとまがないが、鈴木訳『ヴィンヤの卒塔婆小町』をばり張りあえるのは井上究一郎訳『ロンサル詩集』(岩波文庫)のたをやめぶりだと思ふが如何?

サツカレ／平井圭一訳『床屋コックスの日記』馬丁塾(岩波文庫)
英語畑で矢野目源一に匹敵する名人会というこの人であり、平井圭一は、小泉八雲やマツケン(の個人全訳という偉業を忘れられない)『吸血鬼』トラキユラ、も余俗のわざだが、古典と伝統口承の養育で培ったこいつ文体で、昔の風刺滑稽小説をものにできる訳者にははやい。併録の「狂詩巡査行」では、漢詩訳というアクロバットを見せる。いつ読んでもそのうまさに溜息をつく。

の奇書ぶりを心底堪能するためには、段組十数巻に及ぶこの版でなくてはならない。途中で文体が変わるので、下訳者が替わったのもしれないが、そんなこととは関わりなく、背後に田村隆一の人柄が透けてこの翻訳は輝きを失う。ポルノの翻訳ではアポリネールの『若きドン・ジュアンの冒険』(角川文庫)という駄作を偏愛している。訳者の名前は須賀備、スカナレル……。

以下、現代篇は駆け足で行く。塚本邦雄『薔薇色のコリラ』名作シャンソン百花譜(北沢書店)
イヴェット・ギルベールからゲンズワールまで、シャンソンやフレンチ・ポップスの紹介は多いが、満足な訳詩カードに出会ったことがほとんどない。本書に纏められた訳詩と巻末の詩集は、日本語で読める最高のシャンソンの翻訳だ。仏国歌謡論としても、これ以上の本はフランスにも絶無である。

山田宏一・蓮實重彦訳『ヒッチコック・トリニフォー 映画術』(晶文社)
山田宏一の翻訳にかかると、訳書が原書以上に面白く、詳しくなる。本書は私にとって日本語で書かれた映画の本のベストの一冊。山田訳「トリニフォー」の手紙が待ち遠しい! それに字幕『天井桟敷の人々』から「コラール・トリニフォー」まで、山田宏一の訳は映画から「ビデオ、DVDと媒体が変わるたびに洗練されてゆく。驚きのひとことだ」

田口俊樹訳『倒錯の舞踏』(二見書房)
ミステリーの翻訳は盛んだが、この人でなくちゃという原作と訳者の結びつきは少ない。だが、現代ハードボイルド最高峰のスカター・シリーズは田口訳でなくちゃだめ。本作のスカターは最も陰惨な事件を扱った、クールな探偵と凶暴な相棒のコンビが抜群、孤高のアル中探偵の哲学的独り言に酔われる。

中山康樹訳『マイルス・デイビス』(宝島社文庫)
「デイヴィス」でなく「デイビス」、「私」でなく「オレ」。この選択がすべてにラディカルだ。日本一のマイルス者、中山康樹の自信のほどを物語っている。血沸き肉踊る面白さと、驚異にみちた人間の赤裸な生涯の告白であり、同時に、二十世紀アメリカの生んだジャズという文化についての、この上なく真摯な証言になっている。



愛書狂

最近、神田の古書会館に通いだした。暮末資料にかんじて、明治・大正昭和の文献が必要になったからである。集めてみると、これがおもいのほかに金がかかる。二十万、三十万なぞすぐ行ってしまう。絶対欲しいと思つと、かならずや四万九千円とか九万八千円というペラペラな値段がついている。日本の時代小説家というのは、さぞや大変だろうなと思つた。この高さはフランスではちよつと考えられない。なぜなら、五万円といえど、一フラン十五円にして三千三百フラン、十万円なら六千六百フランだ。十九世紀はおろか、十八世紀の稀覯本が買えるぞ! 日本の古書は高すぎる。いったいこの異常な高さはどこからくるのだろうか? 単純なことである。東京では、欧米の大都市に比べても、物価や家賃が高すぎるからだ。一般に古書店の主が古書に値段をつけるとき、一番先に考えるのは、どの程度の値付けにすれば、家賃を払い従業員に給料を支給して、なおかつ自分たち家族が食へていけるかということだ。つまり物価と家賃が、自動的に古書の値段を決めてしまつのである。東京は圧倒的に物価が高い。ゆえに古書の値段も高い。至って単純な経済原理である。この原理がいかに真であるかは、世界で一番高い古書店はどこにあるかを調べればいい。ジュネーヴとニューヨークである。とくに、好景気に沸くニューヨークの古書店の高さは驚くばかりで、カタログのフランス本の値段を見ると、一瞬、フラン表示ではないかと思つほどである。古書の価格を見ると、どこにバブルがあるかがわかる。とすると、バブル崩壊後にもなお高い東京の古書価格はやはり異常といつほかない。(鹿)

「ほんね」と「たてまえ」

「マンガ」教師に見えなかった世界

谷川彰秀 著



これまでマンガと教育は相容れないものとされてきた。しかし「これは大きな損失である」と著者は言う。手塚治虫を元祖とする日本のストリー・マンガは子供たちの人气的であり、国際的にも評価が高い。しかし日本では今日でも、学校にマンガを持ってきてはいけないという規則が一般的である。登校拒否生徒の増加とともに、マンガが隆盛をき

わめたことは、まことに皮肉な象徴的現象といつてよい。

私がマンガに興味をもったのは、なせ子供たちは学校の授業が嫌いなのに、マンガは好きなんだろうという素朴な疑問からであった」と著者は言う。著者によれば、学校とはあくまで「たてまえ」の世界であり、子供にとつて「ほんね」で生きていける空間ではなく、そこに学校とい

シルクロードに生きた人々

「唐シルクロード十話」

スーザン・ウィットフィールド [著]



西暦はじめの一〇〇〇年間、商人、兵士、僧侶、伝道者、また遊女や物乞いたちが、のちにシルクロードとして知られる広大な中央アジアを旅して回った。ヨーロッパ、インドと中国とを結ぶこのルートは、サマルカンドの美しい町から砂漠のなかの小さな村落を通り長安まで、さまざまに異なる居住地を貫いていた。

ソグディアナの商人はバルチック産の琥珀、アフガニスタンの原石、中国産の絹、モンゴル草原の羊毛を商い、巡回する仏教僧やペルシアの

国際的アートディレクターの半生

「わがデザイン時代の田中一光自伝」

田中一光 著

たとえばこんなシーン。固有名詞はすべて、著者のデザイン、もしくはアート・ディレクションによるものである。

ロングビースの紫煙をくゆらせる時、新聞の「日記から」や「音楽展望」のタイトルに目をやる時。チケットセゾンでチケットを買った時、赤坂東急ホテルで待ち合わせした時。

麒麟ビールを飲んだ時、TOTO製のバスタブに浸かった時、新国立劇場で芝居を観た時。

若いころ大阪万博や沖縄海洋博に行った時、「話の特集」や「流行通信」を読んでいた時……。

もちろん、これだけではない。デザインという言葉や概念が定着してようやく五十年、著者がデザインを志して同じく五十年。一枚のポ



国際科学技術博覧会 85の科学万博シンボルマーク

新たな思索のための手引書

「年表で読む哲学・思想小事典」

ドミニク・フォルシェー [著]

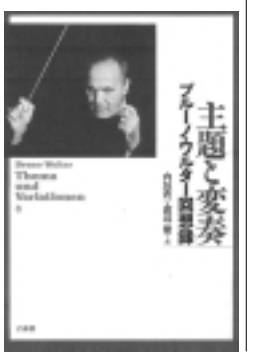


一五〇〇年前に古代ギリシアで始まった哲学を、ヘンリー・ミンツベルグ、中国にまで遡って二十世紀まで、最新の思想(ハーバード・ペルリクール、ドゥルーズ等々)まで記述されている。

* 項目を「哲学史に属する出来事」「哲学史には属さないが、同時代、あるいは後世の哲学にとって重要な出来事」「世界全体の規模において重要な出来事」の三つに分け、さらに、それぞれの項目がその重要度に応じて三段階にランクづけしてあり、知識の整理が容易である。

音楽に殉じた波乱の人生

「主題と変奏」ブルーノ・ワルター [著]



ワルターの指揮といえば、シューベルトの『未完成交響曲』が有名だ。管弦楽がよく歌い、その歌に流れて、音楽が無理なく柔らかに流れている。それも、ただ軽やかというのではなく、喜びと同時に悲しみがあり、笑いと涙がある。それが十分に表出された演奏だった。

本書は、二十世紀前半に活躍した高名な指揮者の五十年にわたる

「文庫クセシ」834

「フランタジネット家の人びと」

アンリ・ロマンロ [著]

エニシタの紋章で知られる「けんか好きな王家」フランタジネット家は、イングランドとフランスをまたにかけ、ヨーロッパ中世の貴族社会を育んだ。フランタジネット家の血統を知ることには、単なる系図理解にとどまらず、国を動かす婚姻関係を知る上で重要であるし、じつに面白い。

本書はアンジュー帝国としての起源から語りおこし、ヘンリー二世の即位で絶頂を見た彼らが百年戦争とバラ戦争により断絶するまでの物語を描写している。なお、読者の参考のために作成した巻末に付した「英仏両王朝の婚姻関係」の系図は、日本語版のオリジナルである。

(福本泰子訳 新書判 一六六頁 本体九五二円)

「文庫クセシ」835

「セネカ」

ヒルケル・クリマル [著]

ストア派の哲学者として皇帝ネロの「家庭教師」をつとめたセネカは、多くの道徳書簡や戯曲作品を残す一方で、ローマ帝政の実権を手中に収めていった。彼は、帝政の基盤が揺らいでいた状況下で、「賢者」として、野心・貪欲・死への恐怖といったものだけでなく、人間の魂を蝕むあらゆる病に治療薬をもたらそうとしたのである。

本書は、セネカの生涯をたどりつつ、エジプトの大陽神学との関わりなど、彼の哲学思想の本質を仔細に検討している。古代ローマ研究の「碩学」グリマルによる、セネカ解説の手引き。なお巻末には、セネカに対する勉強を続けたいと願う読者のために、簡単な読書案内を付した。

(鈴木暁訳 新書判 一五六頁 本体九五二円)

ヤングアダルト

表示価格は税別です。別途に消費税が加算されます。

白水社の本棚

101-0052 東京都千代田区神田小川町3-24 / 振替00190-5-33228 / 電話03-3291-7811 / http://www.hakusuisha.co.jp

悪童ロベットの冒険

キャサリン・パターソン
岡本浜江ノ訳 1600円

国際アンデルセン賞、ニューベリー賞受賞作家による現代版「ハックルベリー・フィン」。牧師の息子がまさにおこすゆかいな大騒動!

イルカの歌

カレン・ヘス
金原瑞人ノ訳 1500円

イルカに育てられた少女が人間の世界に戻った時、驚きと、喜びと、胸をしめつける悲しみが待っていた。全米図書館協会ベストブック。

片目のオオカミ

ダニエル・ペナック
末松水海子訳 1500円

人間に傷つけられ、生きる気力も失っていた片目のオオカミは、限りなく優しい心の少年によって再び力を取り戻す。

カモメに飛ぶことを教えた猫

ルイス・セブルベダ
河野万里子ノ訳 1500円

猫のソルバが誓った三つの約束でもその約束を守るには、大いなる智慧とまわりのみんなの協力が必要だった……。

星を見つけた二匹の猫

ヨルク・リッター
鍋谷由子ノ訳 2000円

フレデリック、カストロ、リンゴら障害をもつ猫とネズミマードックとの戦い! 魂の成長を描くメルヘン。

豚の死なない日

続・豚の死なない日

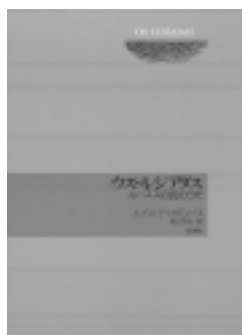
ロバート・ニュートン・ベック
金原瑞人ノ訳「単行本」456円、「白水UPックス」800円

家族のきずな、生きることの喜びと悲しみが、ユーモアと切なさを交えて語られる。感動のロングセラー。

大航海時代の一大叙事詩

「ウズ・ルジアダス」 ルイス・デ・カモンイスの民の魂

ルイス・デ・カモンイス作



その国を代表する大作家、大詩人がいる。イギリスのシェイクスピア、イタリアのダンテ、スペインにとつてのセルバンテス。そしてポルトガルにおいてその地位を占めるのが詩人カモンイスである。

カモンイスの生涯について、確かな事として言えることは少ない。一五二四年または二五年に生

詩人ホメロスやウェルギリウスの叙事詩に匹敵する叙事詩を書くことが大きな願いであった。しかしながら偉大な叙事詩にはそれにふさわしい民族の英雄と偉大な業績が必要であった。ホメロスにとつてのオデュッセウスやトロイ戦争

のよう。そして当時の文人にとつて、ポルトガル人による大航海時代とそれにいたる業績はまさにふりをして家を出るが、行くところがない……本書は、そんなオジさんのロンドン市街での暇つぶしの日を極微に描いた物語だ。

カモンイスの生きたルネサンス期の文人にとつて、古代の偉大な

リストラ中年会計士の性と数字の妄想

「フィリップス氏の普通の日」

ジョン・ランチェスター【作】



主人公のフィリップス氏は会社勤めの会計士で、平凡を絵に描いたような五十歳の中年男。趣味は、家で中古車の値段表や、(著者が死ぬことがないので)自伝を読むことくらい。会計士らしく、その思考法は常に数字や計算を駆使し、しまいには性的妄想を逞しくしてしまつ、というものだ。

ある日、フィリップス氏は不況のため会社を突然解雇されてしまつ。リストラだ。でも、妻に話す勇気がない。月曜日、会社に行く

「マスメディア」を直撃!

「プロバガンダ・デイドリーム」

鴻上尚史作



にして欲しいんです。」というも

ほとんど失業寸前、仕事もなく預金通帳の残高とにらめっこを続けるばかりの、ルポライターがいる。書きたいことを誰にもじやまされずに書きなぐる場をインターネットに求め、みずから運営するホームページで文章を発表していた彼のもとに、ある日、ひとりの女性から奇妙なメールが届いた。彼女からの依頼は、「私を有名

叙事詩にうたわれるにふさわしいものとして映つたのである。こうした機運のなかで生まれたのが、『ウズ・ルジアダス』である。

「ウズ・ルジアダス」とは、ルイスの血をひく人々、ルイスの民、すなわち「ポルトガルの民」の意である。つまりこの叙事詩は

発見を頂点とするポルトガル民族の輝かしい業績と英雄たちの活躍を、ホメロス以来の叙事詩の伝統にのっとり格調高くうたいあげたものである。ルネサンス期のヨーロッパを代表する偉大な詩人による不朽の名作。

市街に出たフィリップス氏は憧れのセクシータレントを見つけ、ストーカーまがいにあとをつけて銀行に入る。すると突然、銀行強盗が押し入り、客は床に伏せると命令される。フィリップス氏は死についてあれこれ妄想しているうちに、衝動的に立ち上がった。強盗が銃を向けるが……。

デビュ作で多数の文学賞を受け、「性」と「死」をテーマにした本書も英米で大絶賛された。英国の新鋭による傑作長編だ。「滑稽かつ哀切」な魅力あふれるコミック・ノヴェルの新星の登場!

（高橋 進訳 四六判 二二四頁 本体二二〇〇円）

見届けたいと思っています。(本書「あとがきにかえて」より)

KOKAMI@networkの第三弾となる本書は、インターネット時代の「マスメディア」を直撃する。「テレビの本質」をえぐり出し、ワイドショーやニュース番組が、視聴率アップのためにはあの手この手で情報を「編集」しつることを説く一方で、「報道被害者」のこころの癒やしをモチーフにしたながら、小説「物語の力を謳いあげている。「骨太な内容」を軽妙なタッチで戯曲作品として描くことができるのは、やはり、著者ならではである。(四六判 一八四頁 本体一六〇〇円)

ハ・ストップ冒険物語

「シェイクスピアを盗め！」

ゲアリー・ブラックウッド【作】



【全米図書館協会最優秀賞受賞作】

ハスという男のもとに連れて行かれた。その男から当代一の人気作家シェイクスピアの新作「ハムレット」のセリフを速記して、盗んでくるようにと命じられ、謎の男とともにロンドンへ旅をすることになった。

十六世紀のロンドンを舞台に、失敗を繰り返しながら成長する少年の勇気と友情、信頼と家族愛を描く感動的冒険物語。一五八七年、ロンドンの郊外に生まれた孤児の少年ウィットは、七歳のとき、

医師の心得のあるブライト博士に引き取られ、徒弟として奉公することになった。博士の考案した速記術をマスターして、近くの教会に住む牧師の説教を書き写し、盗むのが少年のおもな仕事だった。

ウィットが十四歳のとき、謎の男フォルコナーが訪ねて来、レスターに住むサイモン・

笑いと涙で描く異文化家族の物語

「ぼくの国、パパの国」

アユブ・カーン・ディン作



僕はサジット。パパはパキスタン人、ママはイギリス人。パパは好きだけれど、パパの国の習慣を押しつけられるのはいやだ。

イギリスの田舎町、ソルフオードに住むカーン一家は、パキスタン人の父親とイギリス人の母親、それに五人の息子(アブドゥルタリク、マニア、サリム、サジット)と一人娘(ミーナ)の八人家族。毎日、にぎやかに暮らしているが、ひとつ困ったことがあった。それは、フィッシュアンドチップスの店を営むパキスタン人として、また、イスラム教徒として、

父親のジョージが、妻のエラにも自分への考えを強要することだった。それに反抗して、長男のナジルは、すでに家を出ている。ある日、ジョージがアブドゥルとタリクの結婚相手と二人に相談もせず、いつものように、勝手に決めてきた。相手はパキスタン人で、裕福なシャヤー氏の二人の娘だ。妻のエラとアブドゥル、タリクは、当然のように反対する。父親との戦いの日が続く。だが、シャヤー氏が、二人の娘の写真をもってカーン家を訪れる日がついにやってきた……。

映画化 (原作)

ダミアン・オドネル監督

ぼくの国、パパの国

恵比寿ガーデンシネマにて 2001年新春ロードショー 配給: クレスタインターナショナル

白水社 創立85周年記念出版

カフカ 小説全集

池内紀(個人訳) 「全6巻」

長い間待たれていた、カフカの手稿そのものをテキストとした新校訂版全集。

新たな光に照らし出されるカフカ文学を、池内紀個人訳で贈る21世紀への遺産。



第2回配本・第2巻 1月中旬発売

審判

四六判/三三六頁 本体二八〇〇円

銀行員ヨーゼフ・Kは、ある日、突然逮捕される。彼には何一つ悪いことをした覚えはない。いかなる理由による逮捕なのか。その理由をつきとめようとするが、彼にはわからない。尋問を受けても、確かなことは何一つ明らかにならない。不条理にみちた現代社会をいち早く捉えた世紀の傑作。

失踪者

(第一回配本) 三五〇頁 本体一八〇〇円

従来「アメリカ」という表題で知られてきた作品。主人公カール・ロスマン青年はアメリカ社会を遍歴大陸の一点で失踪する。

続刊

城 変身ほか

万里の長城ほか

淀の問題ほか

以下巻数順に隔月刊行

五十音のルーツも見えてくる

「華麗なるインド系文字」

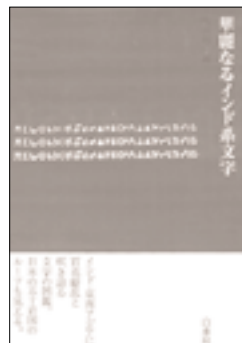
町田和彦 編著

インドの紙幣には、十七言語の文字によってお金の単位が印刷されている。インドは日本の約十二倍の広さがあるといえ、なぜそんなに多くの文字が併存するのであろうか。インドと隣接するチベットや東南アジアの国々の文字も、互いに妍を競うようにその独自の形を誇っている。

これらの文字は字体が著しく異なるが、文字の配列や音節文字としての構造は基本的に同じで、そのルーツをたどるとアショーカ王（紀元前三世紀）の碑文に刻まれたブラーフミー文字にたどりつく。

本書は、このブラーフミー文字をキー文字に据えて、現在使われている十五種類の文字を具体的に比較対照した図鑑部分と、インドから誕生した文字の不思議の探訪記部分からなる。卒塔婆の文字として知られる梵字も加えた。日本の五十音のルーツも見えてくる。

（A5判）二〇〇頁 本体二四〇〇円 1月下旬発売



インド系文字をあなたのイニシアルにしませんか!

たとえば伊藤さん、あなたへのお勧めは

ᱚ (オリヤー文字で[イ]) ᱛ ᱜ ᱝ

または

ᱠ (シンハラ文字で[イ]) ᱡ ᱢ ᱣ ᱤ

本書は、およそ900におよぶ文字の発音と書き順を一つずつ示した文字の図鑑になっています。

「仏和」+「和仏」+「会話」と一人三役の多機能辞典、
ハンディで小さなボディが大活躍!

パスポート 仏和・和仏小辞典

内藤陽哉 / 玉田健二 / クロード・レヴィ アルヴァレス [編]

携帯するのが苦にならないハンディな大きさの中に、「仏和」・「和仏」・「会話」の3つが1つに融合した多機能辞典です。カナ発音の「仏和（見出し語約15,000）」、用例入り本格「和仏（見出し語約5,000）」、臨場感あふれる実戦「会話集」の各パートを互いに連携させることにより、単語の意味・背景・用法のより深い理解へと導くよう編集されました。学習にはもちろん、海外旅行にオフィスにと場所を選ばず活用できます。また、2色刷りで大きめの活字は、引きやすく読みやすく、年輩の方々もきっとご満足いただけるでしょう。これさえあれば日常フランス語で戸惑うことはありません。形の変化が分かりやすい動詞活用表付き。

B小型 635頁 本体2500円 2月中旬発売

待ちに待った全面改訂版!

和西辞典 (改訂版)

宮城 昇 / 山田善郎 / 有本紀明 / 牛島信明 / 瓜谷 望 / 大岩 勉
エンリケ・コントラス / 佐藤玖美子 / 杉山 武 / 土壁重信 / 寺崎英樹
利光和彦 / 中岡省治 / 橋本定久 / 秦 隆昌 / 東谷頼人 / 布施 温
エクトル・アベル・フローレス / 森本久夫 / 横田佐知子 / 吉田秀太郎 [編]

西和辞典をひっくり返せば和西辞典ができるわけではないが、改訂では白水社でコンピュータ処理化した『現代スペイン語辞典』のデータを大いに活用した。たとえば「くやしい」とか「みともない」のような感情表現は和=西の1対1の対応をすることが少ないが、データを和で検索し、見つけたスペイン語があらゆる文脈で使えるか、特殊な文脈でしか使えないかをネイティブに確認し、項目を組み立てた。最近では「インフォームド Consent」「リストラ」など日本とほぼ同時にスペインでも新語が生まれているが、「胎教」「追突」のように文化的背景の違いでスペイン語になっていないものは説明的処理または例文化した。



B6変型 1443頁 本体4500円

見出し語はカナ表記 見出し語数35,000、収録した単語と表現65,000
文法、場面別表現、ジャンル別語彙など185項目の囲み記事 豊富な付録

編集部より

書店員さんと話をしていると、自分が読んだ本を勧めたり、逆に勧められたりするところがよくあるのだが、同時期に複数の方から勧められた本はめずらしい。それが、黒田龍之助『外国語の水曜日』（現代書館刊）だった。理系大学でロシア語を教えている著者の、たのしそうな授業風景を中心にした好エッセイ集である。語学や文学を専攻しているのではない学生が、熱心に外国語に取り組む姿に心の底から頭が下がった。なにしろ私は語学参考書を出している出版社に勤務しているが、

【お願い】 住所表記が変更になりましたら、御名前・新住所・旧住所、お届けいたしております本紙の帯封コードをお知らせください。

去年の後半は山田裕さんの本を読みふけて幸福な思いをした。見過ごしていた編集工房ノア刊の旧作を取り寄せ、評判の新作『北園町九十三番地 天野忠志さんのこと』（同上）でひたすら締めくくり。ただ、修学旅行生レベルの土地勘のななし、書名にもつたわれているような京都の地名がイメージできない。日々の散歩や買物の道すじ、青空吉本市のほなしなど、記述がくあつさりしているだけに、町の本の十字路

一体感がつかえてもどかしさが募る。では、東京ならわかるかというところも行かず、相前後して手に取った淡島寒月『梵雲庵雑話』の向島一帯のはなしもほお手上げであった。しかしこれらは住んだことがないのだからとあきらめもつく。麻布十番、三軒茶屋など、かつては国土地理院なみに（おあけさな！）くわしかつた所も様子が一变し、いまや掌を指すように雲霧を想起できる土地はない。

編集メモ

昔夏目先生はザットのイットに倦んで大学を辞し首尾よく文豪となりおおせしが、今平成神国の御民我ら再びイットの革命に鼻面を引き回さるる嘉運に遭う。時に臨んで愚生この好機を謝して独り古に遊ぶ。此に傾日玩弄する千字文なるものあり。往昔百済より伝えて我が朝芸文史の首飾たりしものなり。中について耽読耽市寓目囊箱の句あり。これ後漢王充が故事にして支も資する所なきことを。（N）

那史最古の本屋立読みの史実を表せしもの。それがどうしたと言われればどうもしませんが、初め読んで此に至って嬉しくなりしより、ならば我が邦歐羅巴の最古の記録や如何との一念勃然として発酵す。業中業余漁書末だこれを得ざるに、ふと手にしたる逸書に独逸の飲み屋の最古の記録は七九四年の司教布告中にありとの一文に接す。嗚呼楽しい哉。ただ憾むらくはこの快、イットの革命に寸毫だも資する所なきことを。（N）

辞典

表示価格は税別です。別途に消費税が加算されます。

白水社の本棚

101-0052 東京都千代田区神田小川町3-24 / 振替00190-5-33228 / 電話03-3291-7811 / http://www.hakusuisha.co.jp

白水社 ラース仏和辞典

監修 三宅徳嘉 / 六鹿豊 校閲 フランス・ドルヌ
こんな辞書は今までなかった！
基本語8000のメカニズムを徹底的に追及した、
言葉の神秘に迫る究極の一冊。
引くだけでなく、じっくり読める辞典です。
B6変型判 1300頁 4200円 【3月発売】



パスポート独和辞典

編集責任 細谷行輝
編集 菅谷泰行・市岡正通・山取清・我田広之・山下仁 【第2版】
好評学習独和の全面改訂版。新正書法にも完全対応。
厳選された見出語15,000は初学者に必要な十分な内容。
カナ発音併記、コラム、イラストなど楽しく学ぶ工夫満載。
【2色刷】B6変型判 860頁 2900円（別売CD1460円）



現代フランス語辞典

編集 中條屋進 / 丸山義博 / G.メランベルジェ / 吉川一義 【第2版】
新語・新語義大幅増補。定評ある「ディコ」の全面改訂版
一番新しく 一番わかりやすく 「ル・モンド」まで読める辞典が見やすくハンディーにリニューアル
初めてでもわかるカナ発音付き
【2色刷】B6変型判 1788頁 3800円（別売CD1460円）



現代スペイン語辞典

監修 宮城 昇 / 山田善郎 【改訂版】
語数・用例・説明を大幅に増やして全面改訂
スペイン語をより正しく、よりこまやかに理解できます。
中南米の表現、最新用語を多数収録。46,500語。
新アルファベット配列。文法概要付。
【2色刷】B6変型判 1536頁 4000円

